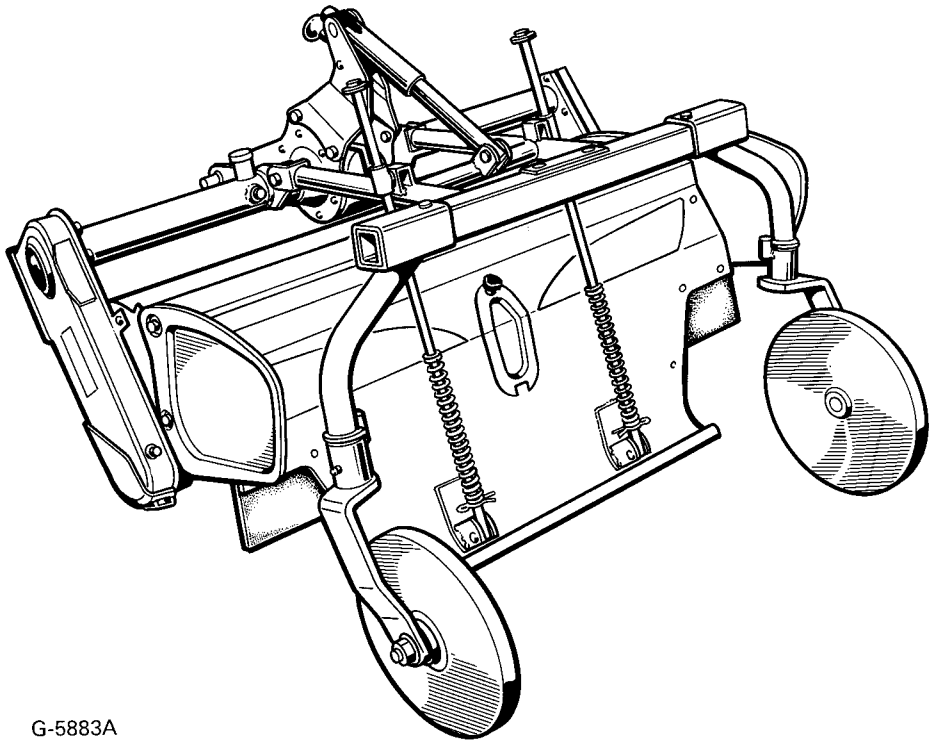
クボタロータリ

取扱説明書

RS10K

(サイドドライブロータリ)



G-5883A

ご使用前に必ずお読みください
いつまでも大切に保管してください

はじめに

このたびはクボタ製品をお買いあげいただきましてありがとうございました。
この取扱説明書は製品の正しい取扱い方法，簡単な点検および手入れについて説明しています。ご使用前によくお読みいただいて十分理解され，お買上げの製品が秀れた性能を発揮し，かつ安全で快適な作業をするためこの冊子をご活用ください。また，お読みになった後必ず大切に保存し，分からないことがあったときには取出してお読みください。なお，製品の仕様変更などにより，お買上げの製品とこの説明書の内容が一致しない場合がありますので，あらかじめご了承ください。

⚠安全第一

本書に記載した注意事項や機械に貼られた⚠の表示があるラベルは，人身事故の危険が考えられる重要な項目です。よく読んで必ず守ってください。
なお，⚠表示ラベルが汚損したり，はがれた場合はお買上げいただいた購入先に注文し，必ず所定の位置に貼ってください。

■注意表示について

本取扱説明書では，特に重要と考えられる取扱い上の注意事項について，次のように表示しています。

⚠ **危険**：注意事項を守らないと，死亡または重傷を負うことになるものを示します。

⚠ **警告**：注意事項を守らないと，死亡または重傷を負う危険性があるものを示します。

⚠ **注意**：注意事項を守らないと，けがを負うおそれのあるものを示します。

重要：注意事項を守らないと，機械の損傷や故障のおそれのあるものを示します。

補足：その他，使用上役立つ補足説明を示します。

目　次

⚠安全に作業するために … ⚠-1

サービスと保証について …… 1
ご相談窓口 …… 1
補修用部品の供給年限について …… 1

ロータリの着脱のしかた …… 2
トラクタとの組合せ …… 2
ロータリ着脱時の準備 …… 2
取外し方 …… 2
取付け方 …… 3

ロータリの上手な使い方 …… 5
適応作業速度 …… 5
なた爪の取付け方 …… 5
均平耕法の配列 …… 6
１つ盛り耕法の配列 …… 6
２つ盛り耕法の配列 …… 6

ロータリの調整 …… 7
ロータリカバーの調整 …… 7
スナップピンの位置 …… 7
後２輪の調整 …… 7
後２輪ハンドルによる耕深調整 …… 7
畝立機の取付け(別売りオプション) …… 8
爪軸交換のしかた …… 9

作業前の点検について(日常点検) …… 10
点検箇所 …… 10
点検は次の順序で実施してください … 10
点検のしかた …… 10
[1]ユニバーサルジョイントの
ロックピンの確認 …… 10

ロータリの簡単な手入れと処置 …… 11
定期点検箇所一覧表 …… 11
給油一覧表 …… 11
推奨オイル・グリース一覧表 …… 12
オイル …… 12
グリース …… 12
各部の油量点検と交換 …… 13
ギヤーケースオイル …… 13
チェーンケースオイル …… 14
グリース・オイルの補給と注油 …… 14
ユニバーサルジョイント …… 14
２点リンク連結部 …… 14
サイドフレーム下側ベアリングケース … 15
後２輪のグリースニップル部 …… 15
内管(後２輪調整ネジ部) …… 15
シールの組換え …… 15

付表 …… 16
主要諸元 …… 16
標準付属品 …… 16
アタッチメント一覧表 …… 17
主な消耗部品一覧表 …… 18

7F300-5991-1

⚠ 安全に作業するために

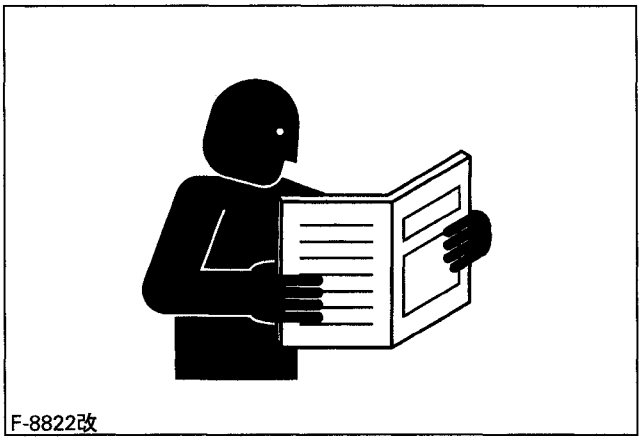
本機をご使用になる前に，必ずこの『取扱説明書』をよく読み理解した上で，安全な作業をしてください。安全に作業をしていただくため，ぜひ守っていただきたい注意事項は下記の通りですが，これ以外にも，本文の中で⚠危険・⚠警告・⚠注意・重要・補足としてそのつど取上げています。

1．ロータリを使用する前に

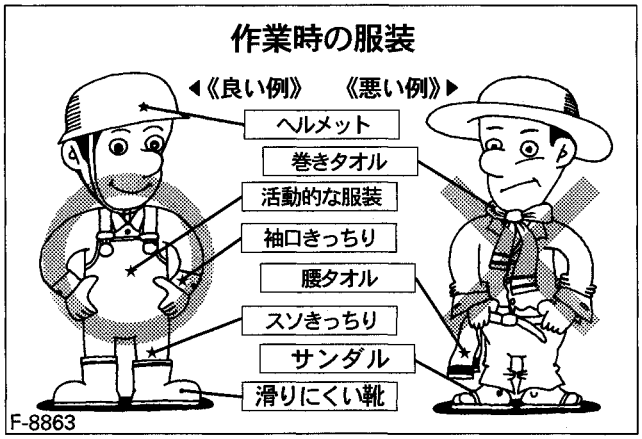
(1)ロータリを使用する前に必ず，この取扱説明書とトラクタ本機の取扱説明書，及び，機械に貼ってある⚠表示ラベルをよく読み，理解した上で作業してください。

(2)ロータリを他人に貸すとき，また，他人に作業を依頼するときは，事前に操作のしかたを教え，本書を読ませてください。

(3)本書及びラベルの内容が理解できない人や子供には絶対に作業させないでください。


F-8822改

(4)ダブダブやかさばった衣服を着用しないでください。
回転部分や操縦装置にひっかかり事故の原因になります。
安全のため，ヘルメット，安全靴，保護めがねや手袋などを必要に応じて使ってください。



F-8863

2．ロータリの着脱時

(1)PTOを中立にして平坦な場所で行なってください。

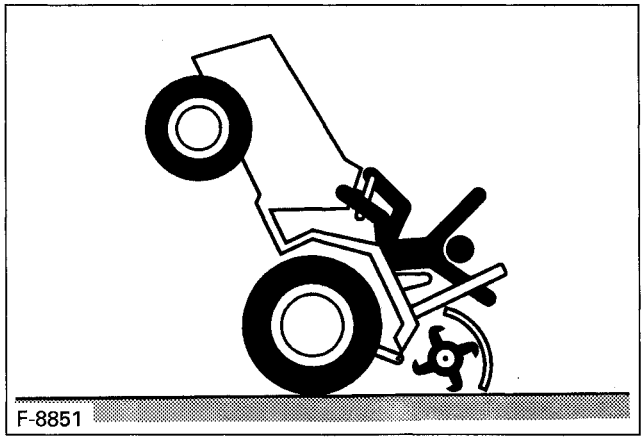
(2)トラクタとロータリの間に立たない，また立たせないでください。
挟まれるおそれがあります。

F-8848

(3)二人作業の場合はお互いに合図しあい，注意して作業してください。

(4)2点リンクの止めピンやユニバーサルジョイントのロックピンが確実にセットされていることを確認してください。

(5)装着するトラクタによってそれぞれ前後バランスが異なりますので，前部ウエイトの指示がある場合は必ず装着してください。
前輪が浮上がり事故の原因になります。


F-8851

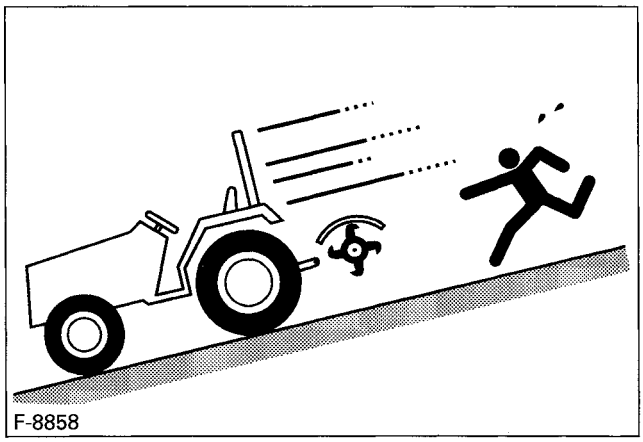
⚠ 安全に作業するために

3．耕うん爪の点検や交換及び調整時

(1)トラクタを平坦な場所に置いてください。

(2)駐車ブレーキを掛け，エンジンを停止してください。

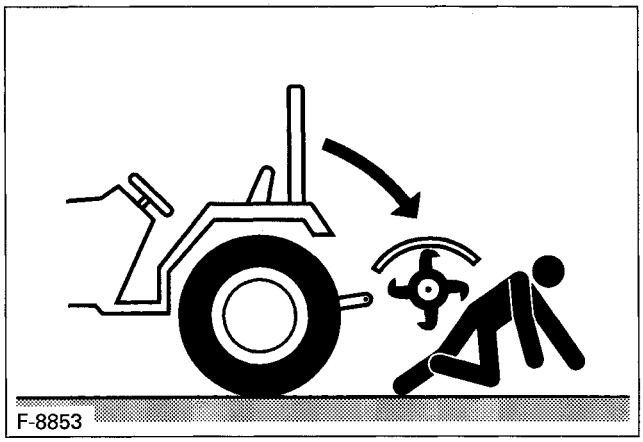
トラクタが動き出すおそれがあります。



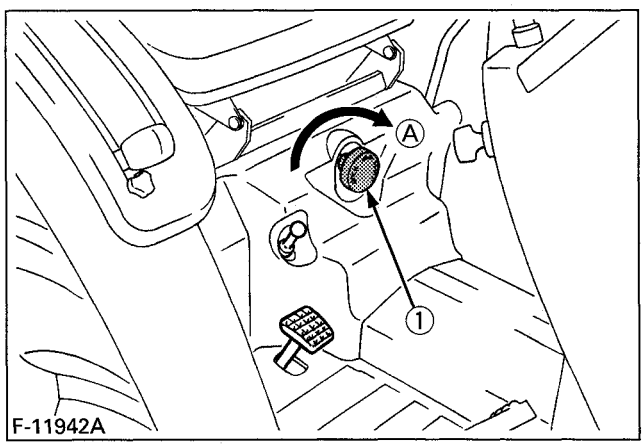
F-8858

(3)ロータリの落下防止のため油圧ロックをしてください。

ロータリが落下するおそれがあります。



F-8853



F-11942A

①落下速度調整グリップ　Ⓐ“ロック”

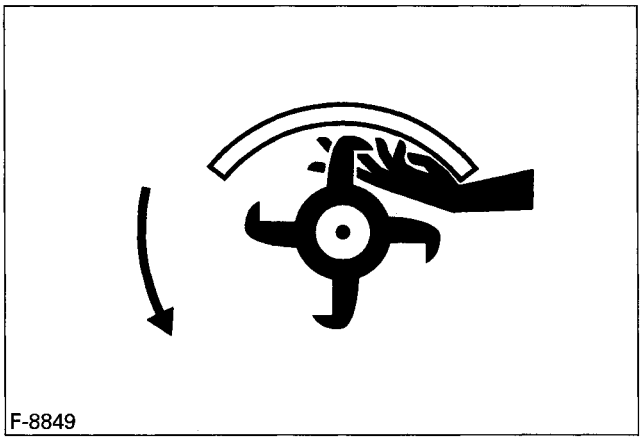
4．運転時

(1)安全カバー類を外した状態でロータリを使用しないでください。又紛失したり損傷した場合，交換してください。

巻込まれや，切傷事故の原因になります。

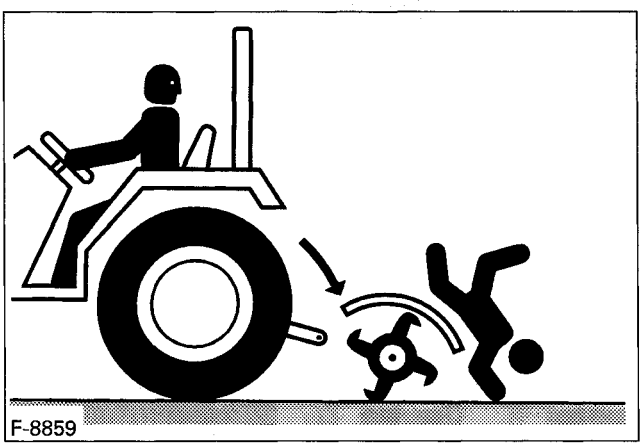
(2)ユニバーサルジョイント，爪軸等回転部分には近づかないでください。

裂傷・巻込まれ等，事故のおそれがあります。



F-8849

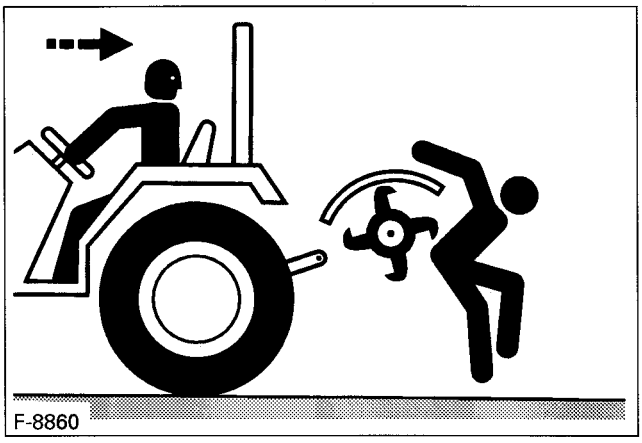
(3)ロータリの上に人を乗せないでください。



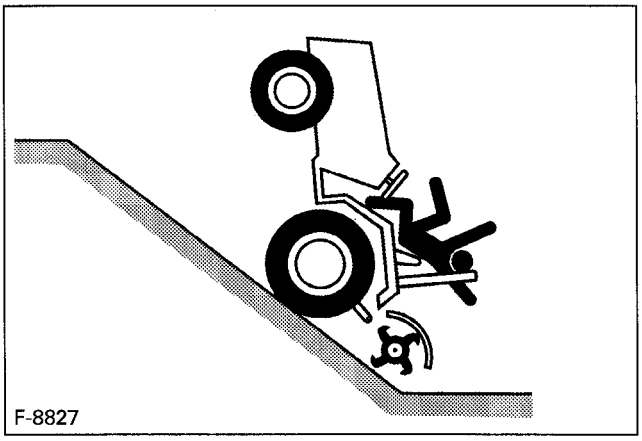
F-8859

(4)必ず座席に座ってロータリ作業を行なってください。作業中，トラクタの飛降り，飛乗りは重大事故につながります。

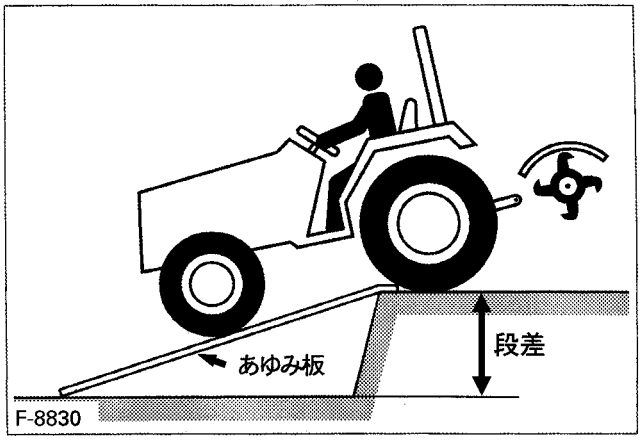
(5)ロータリを持上げ，バック及び急旋回するときは，周囲の安全確認を行なってください。



(6)傾斜地やあぜを登るときは，転倒防止のためロータリを下げて前輪の浮上がりを防いでください。

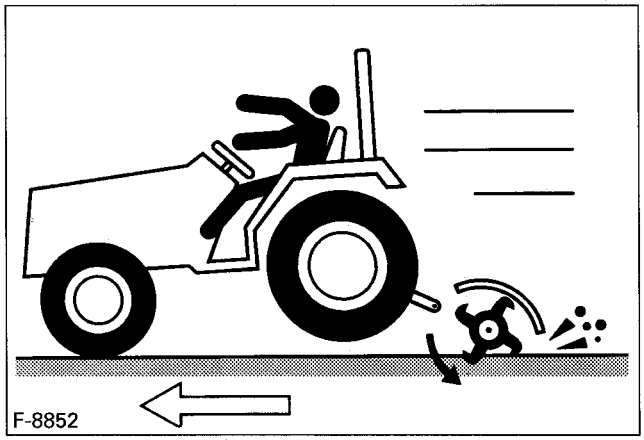


(7)ほ場の出入りなどで，高低差の大きい急傾斜の登り降りや，溝越えが必要な場合，あゆみ板を使用し，確実に固定してから低速で行なってください。



あゆみ板は段差の４倍以上の長さのものを使用してください。

(8)耕うん中，硬いほ場でトラクタが前に飛出した場合，すぐクラッチを切り，ブレーキを踏んでください。次に，より遅い車速に変速し，爪軸回転を上げて飛出しが起こらないように作業してください。
２輪駆動，４輪駆動の切り換え可能なトラクタは，４輪駆動にしてください。

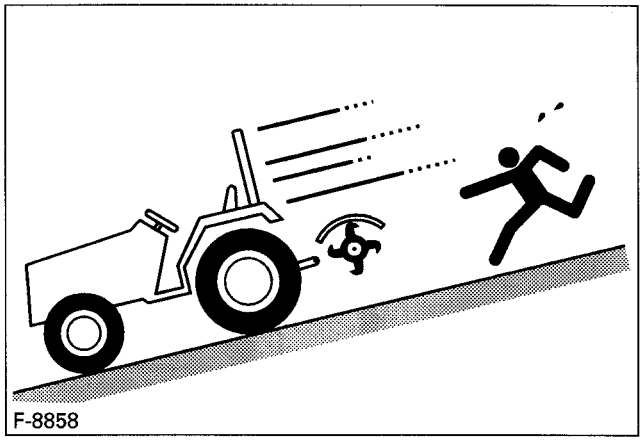


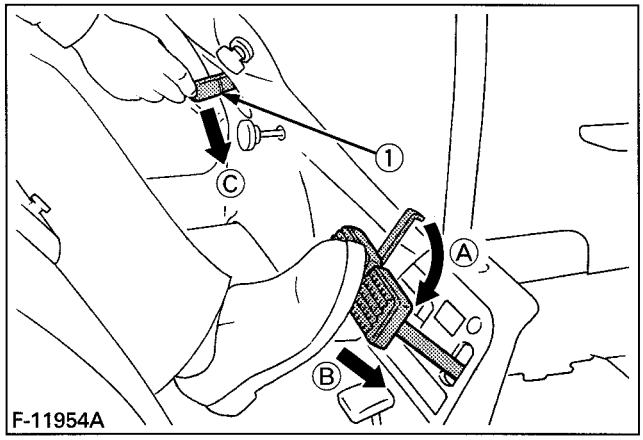
(9)ロータリをトラクタに装着して公道を走行できません。(道路運送車両法の保安基準)
作業機を装着して走行すると，他の車や電柱などに引っかけて事故の原因になります。

▲ 安全に作業するために

5．格納時

(1)トラクタを平坦な場所に置いてください。
(2)ロータリを下げ，地面に接地させてください。ロータリが落下するおそれがあります。
(3)駐車ブレーキを掛け，エンジンを停止してください。
トラクタが動き出すおそれがあります。


F-8858

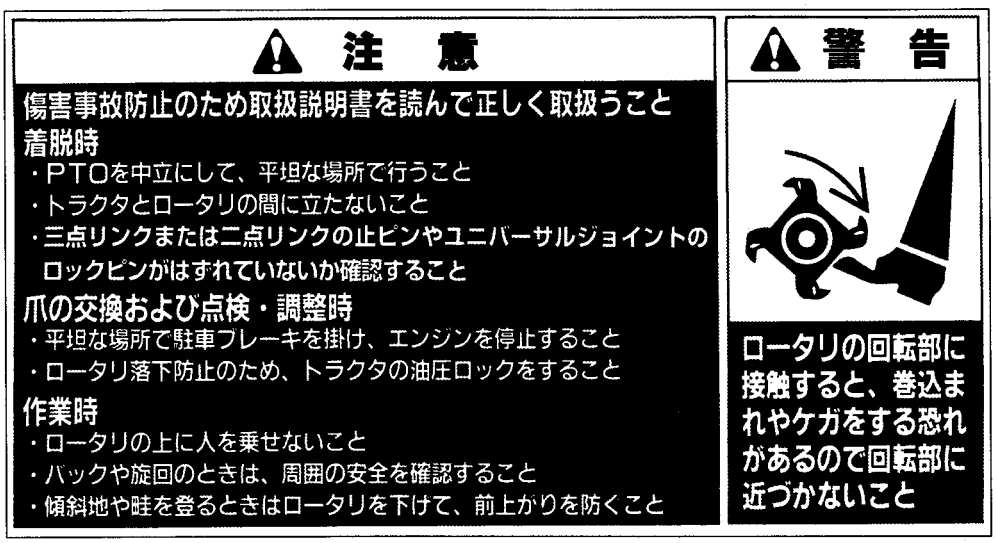


F-11954A

①駐車ブレーキレバー　Ⓐ“連結金具をかける”
Ⓑ“踏込む”
Ⓒ“下げる”

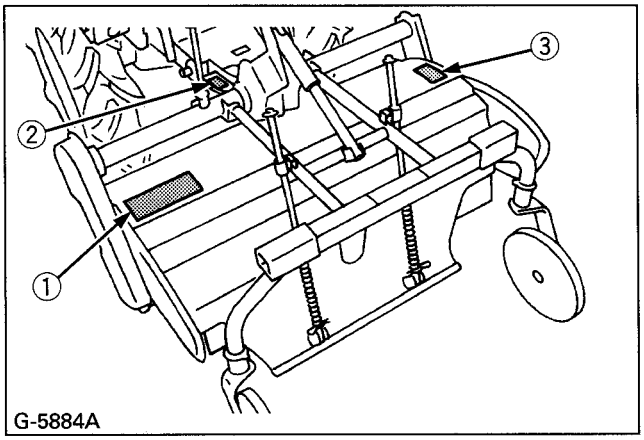
6．▲表示ラベルと貼付位置

① 品番　7C705-5646-2



② 品番　7C705-5881-1

③ 品番　7F712-5613-1



7．▲表示ラベルの手入れ

(1)ラベルは，いつもきれいにして傷つけないようにしてください。
　もしラベルが汚れている場合は，石鹸水で洗い，やわらかい布で拭いてください。
(2)高圧洗浄機で洗車すると，高圧水によりラベルが剥がれるおそれがあります。高圧水を直接ラベルにかけないでください。
(3)破損や紛失したラベルは，製品購入先に注文し，新しいラベルに貼替えてください。
(4)新しいラベルを貼る場合は，貼付け面の汚れを完全に拭取り，乾いた後，元の位置に貼ってください。
(5)ラベルが貼付けされている部品を新部品と交換するときは，ラベルも同時に交換してください。

サービスと保証について

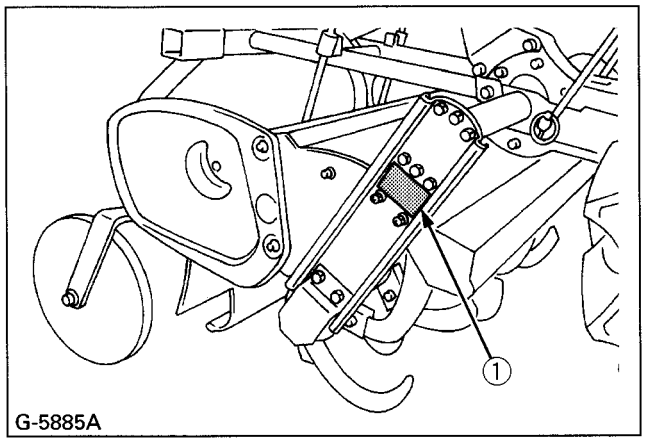
この製品には，保証書が添付してありますのでご使用前によくご覧ください。

■ご相談窓口

ご使用中の故障やご不審な点及びサービスについてのご用命は，お買上げいただいた購入先に，それぞれ**“ご相談窓口”**を設けておりますのでお気軽にご相談ください。
その際，ロータリ名称と機械番号を併せてご連絡ください。
なお，部品ご注文の際は，購入先に純正部品表を準備しておりますので，そちらでご相談ください。

警　告

＊機械の改造は危険ですので，改造しないでください。改造した場合や取扱説明書に述べられた正しい使用目的と異なる場合は，メーカ保証の対象外になるのでご注意ください。



①ロータリ名称・機械番号

■補修用部品の供給年限について

この製品の補修用部品の供給年限(期限)は製造打ち切り後12年といたします。
ただし，供給年限内であっても特殊部品につきましては，納期等についてご相談させていただく場合もあります。
補修用部品の供給は原則的に上記の供給年限で終了致しますが，供給年限経過後であっても部品供給のご要請があった場合には，納期及び価格についてご相談させていただきます。

ロータリの着脱のしかた

注　意

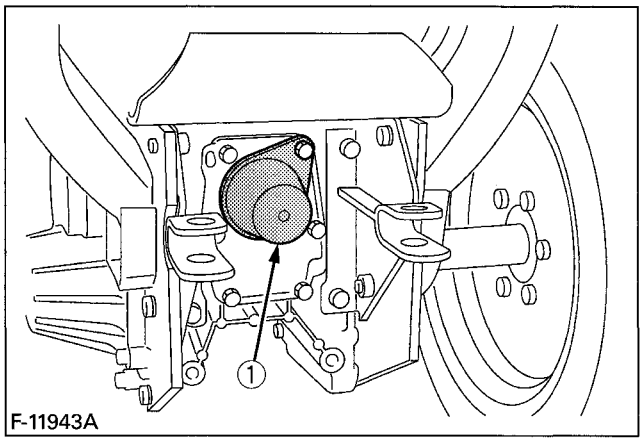
＊ロータリの取付け・取外しは，平たんな場所を選び，トラクタとロータリの間には立たないでください。又，連結部品を着脱する場合はエンジンを止めて駐車ブレーキを掛けてください。

＊ロータリを外した状態で，PTO軸を回転させないでください。

＊PTO軸を使わない場合は，必ずPTO軸キャップを取付けてください。

＊PTO軸キャップを使わない場合は，大切に保管してください。

（PTO軸キャップは，出荷部品袋に入っています。）



①PTO軸キャップ

■トラクタとの組合せ

トラクタ	KJ 11
ロータリ	RS10K

■ロータリ着脱時の準備

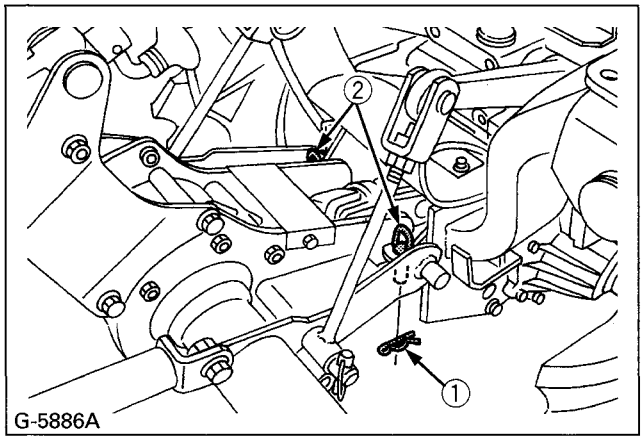
後２輪を取付けてください。

■取外し方

❶油圧レバーでロータリを耕うん爪の先端が，地上から約10㎝の位置になるまで降ろします。

❷エンジンを停止し，駐車ブレーキをかけて落下速度調整グリップで油圧ロックします。

❸ベータピンを抜き，ロータリレンケツピンを抜きます。

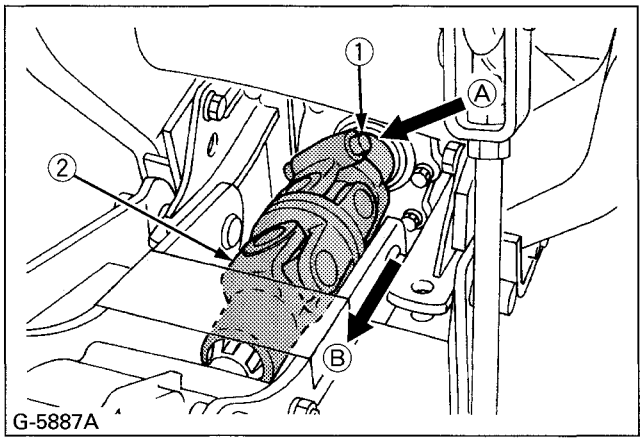


①ベータピン
②ロータリレンケツピン

❹落下速度調整グリップで油圧ロックを解除し，油圧レバーでロータリの爪を接地させます。

❺後２輪ハンドルを回して，後２輪を接地させます。

❻ジョイントロックピンを押え込みながら，ロータリ側へジョイントを引抜きます。



①ジョイントロックピン　Ⓐ“押込む”
②ジョイント　Ⓑ“引抜く”

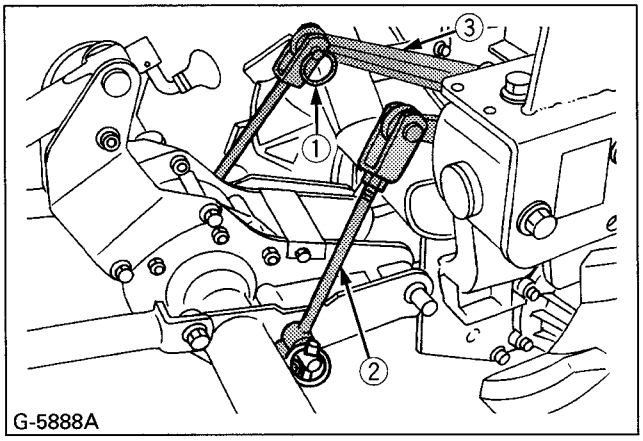
補　足

＊ジョイントを引抜いた状態では，ジョイントはロータリ側の軸に差込まれたままになりますが，ロータリを下向きにすると脱落するので，紛失しないよう注意してください。

❼スナップリングを抜いて，トラクタのリフトアームからリフトロッドを外します。

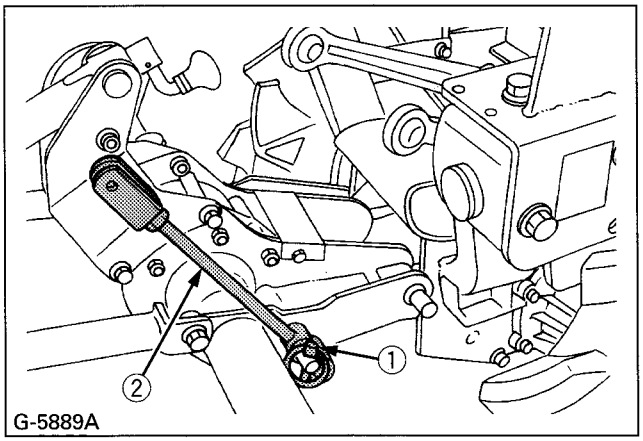
補　足

＊外れにくい場合は後２輪ハンドルを少し回すと外れやすくなります。



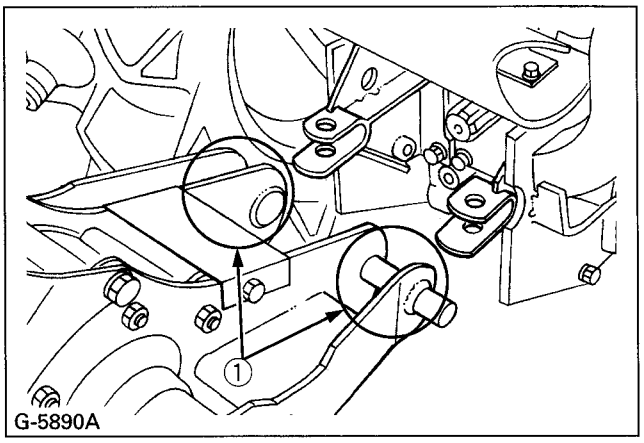
①スナップリング
②リフトロッド
③リフトアーム

❽セットピンを抜いて，ロータリからリフトロッドを外します。



①セットピン
②リフトロッド

❾ロータリの後２輪ホルダを持って，静かに後方に引張ると，ロータリが外れます。



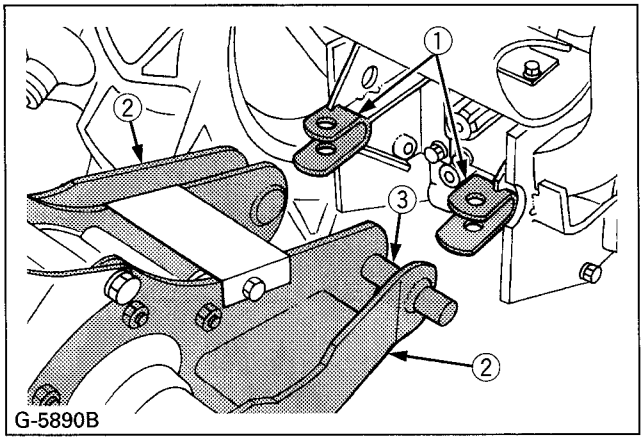
①サポート(ロータリ)のアーム部先端

■取付け方

取外しと逆の方法で行ないます。

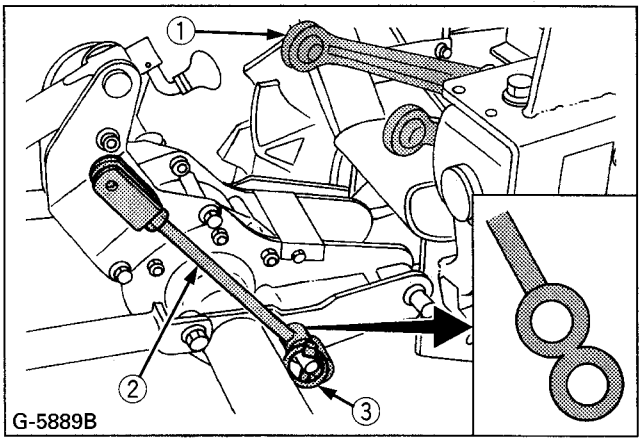
❶トラクタの取付け部が，ロータリの取付け部と接近するまで，トラクタを後進させて駐車ブレーキをかけます。

❷２点リンクブラケットのU金具部に，ロータリアームの支点ピンを合せ，ロータリを押して入れます。



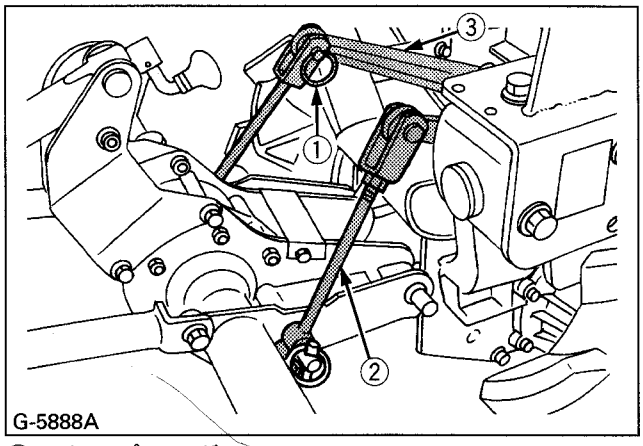
①U金具部
②ロータリアーム
③支点ピン

❸油圧レバーで，リフトアームをいっぱい下げ，リフトロッドの上側のパイプをセットピンでロータリに止めます。



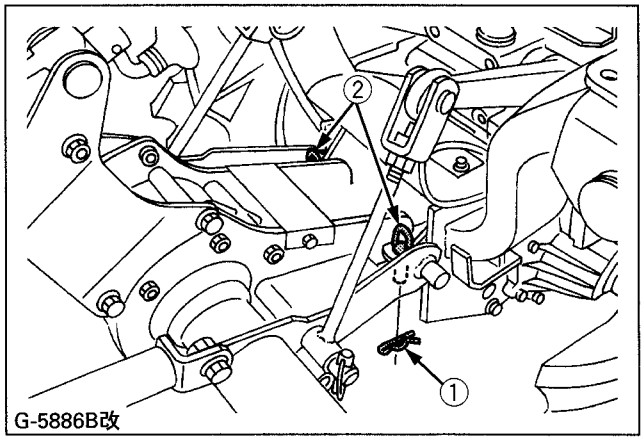
①リフトアーム
②リフトロッド
③セットピン

❹リフトロッドをトラクタのリフトアームに取付け，スナップリングで止めます。



①スナップリング
②リフトロッド
③リフトアーム

❺連結が終ると，油圧レバーで，ロータリを約10㎝吊上げてエンジンを停止し，落下速度調整グリップで油圧ロックしてからロータリレンケツピンを差込み，ベータピンで止めます。



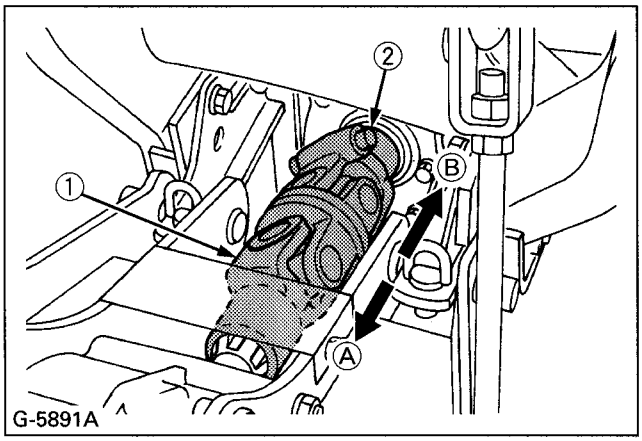
①ベータピン
②ロータリレンケツピン

❻落下速度調整グリップで油圧ロックを解除し，油圧レバーでロータリの爪を接地させます。

❼ロータリ側へジョイントをいっぱい引込み，ジョイントロックピンを押えながら，トラクタ側のPTO軸のスプラインに合せて押込み横溝にロックします。

補　足

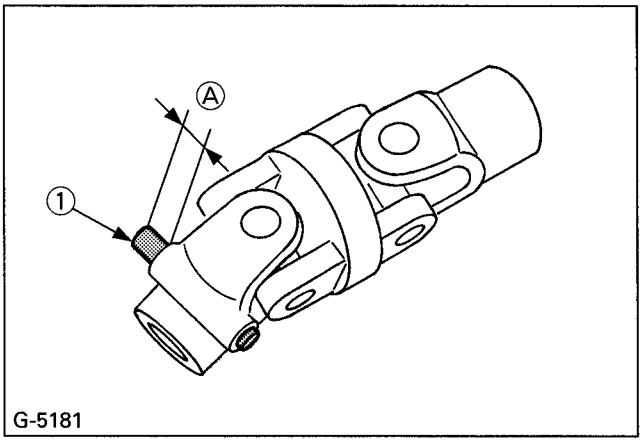
＊ジョイントロックピンが作動しにくいときは，注油すると軽く動きます。



①ジョイント
②ジョイントロックピン
Ⓐ“①ロータリ側へいっぱい引込む”
Ⓑ“②PTO軸の横溝にロックする”

警　告

＊ユニバーサルジョイントのロックピンが，正確に溝にはまったかどうかの確認は，ピンの頭が7㎜以上出ているか確認してください。



①ロックピン　　Ⓐ“7㎜以上出ているのが正常です”

ロータリの上手な使い方

警 告

＊ロータリのユニバーサルジョイントと，耕うん爪に接触すると巻込まれ等の死傷事故のおそれがあります。回転中は近づかないでください。
＊必ず座席に座って，ロータリ作業を行なってください。作業中，トラクタからの飛降り，飛乗りは重大事故につながります。
＊ロータリの上に人を乗せたり，運転者以外の人をトラクタに乗せたりしないでください。転落，巻込まれなど，重大事故の原因になります。

注 意

＊ユニバーサルジョイント部の安全カバーを外したままで使用しないでください。傷害事故を引起こすおそれがあります。

適応作業速度

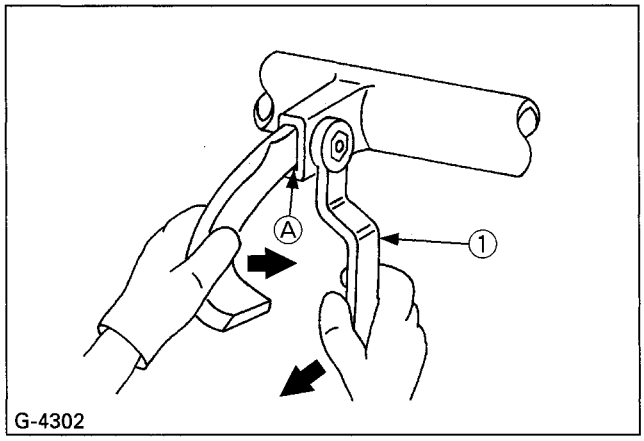
作業目的と耕作地の条件に合せて，車速を決めてください。
下表は，作業のめやすとして参照してください。

変速レバー位置と作業		
PTO / 車速	1段	2段
1速	水田畑作（荒起し 畝立て）	水田畑作（細土耕うん 一般耕うん 畝立て）
2速		
3速		
4速	代かき作業	

なた爪の取付け方

注 意

爪の交換及び増締めするときは，傷害事故を引起すおそれがありますのでつぎのことを守ってください。
＊トラクタを平たんな広い場所に置く。
＊エンジンを止め，駐車ブレーキを掛ける。
＊落下速度調整グリップを，右いっぱいに回し，ロータリの落下を防止する。
＊爪軸の下に木の台などをし，より安全性を確保する。
＊ボルト・ナットを締付ける場合は，めがねレンチが確実に入ったか確認する。

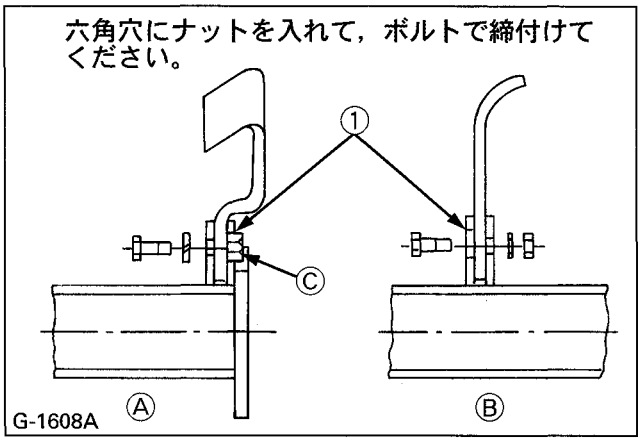


G-4302

①17×19めがねレンチ　Ⓐ"爪を押さえてこのすき間をなくす"

補 足

＊めがねレンチで，力いっぱい締付けてください。
【締付けトルク78.4～88.2N·m (8.0～9.0kgf·m)】
(めがねレンチをナットやボルトの頭に確実に差込み，外れないように注意してください。)



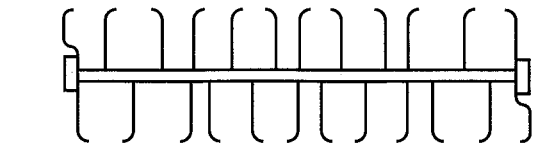
①爪軸ブラケット六角穴　Ⓐ“爪軸両端の取付け”
Ⓑ“爪軸両端以外の取付け”
Ⓒ“六角穴にナットを入れて，ボルトで締付ける”
Ⓓ“爪軸両端以外は爪の曲がりが六角穴の反対側になるように取付ける”

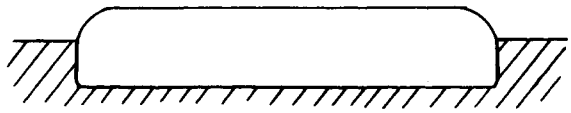
爪軸両端で白ペンキを塗ったブラケット	白ペンキを塗っていないブラケット
322号爪	321号爪

補　足

＊爪を抜いて作業すると，爪のバランスが狂い，振動がでることがありますので，ご注意ください。
＊耕うん爪は，クボタ純正部品を使用してください。

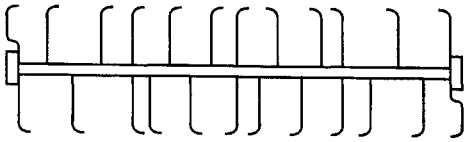
■均平耕法の配列

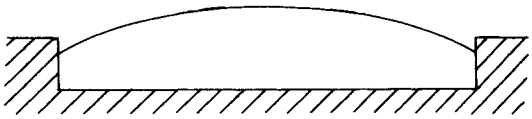

G-5305


G-1583A改

■1つ盛り耕法の配列

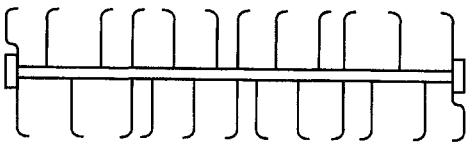
爪軸中央を基準とし他の爪はすべて内向きになるように取付けてください。
このとき，ロータリカバーを上げて，カバーが耕うんした土壌を整地しないようにします。

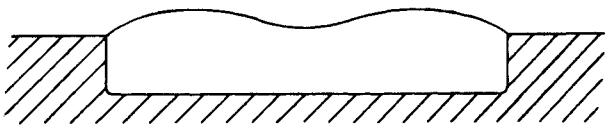

G-5306


G-1586A改

■2つ盛り耕法の配列

〔畝立て作業（1連畝立て）の配列〕
爪の配列は下図のように取付けてください。
このとき，ロータリカバーを上げて，カバーが耕うんした土壌を整地しないようにします。


G-5307


G-1589A改

ロータリの調整

注　意

ロータリ各部の調整・着脱・交換をするときは，障害事故を引起すおそれがありますので，つぎのことを守ってください。

＊トラクタを平たんな広い場所に置く。

＊エンジンを止め，駐車ブレーキを掛ける。

＊落下速度調整グリップを，右いっぱいに回し，ロータリの落下防止をする。

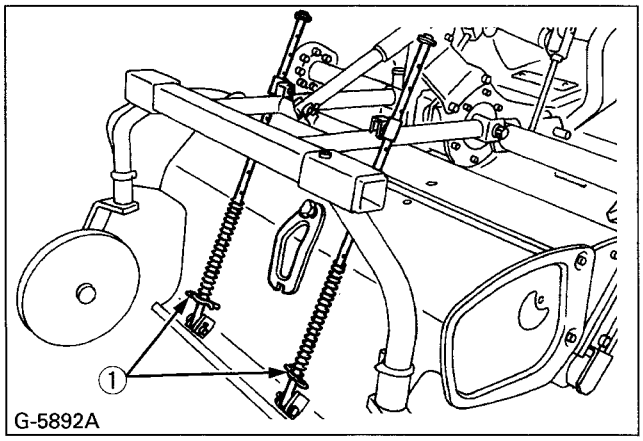
＊爪軸の下に木の台などをし，より安全性を確保する。

ロータリカバーの調整

■スナップピンの位置

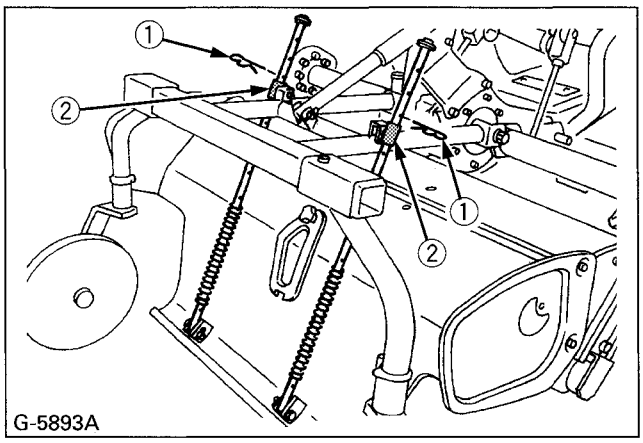
スナップピンは通常一番下のロッド穴にセットしてください。整地押付け圧に合わせてロッド穴をお選びください。(下から１番目，２番目，３番目…と取付け位置を上方に上げるにつれ押付力は強くなります。)

● 押付力を強くすると，均平，整地に効果があります。



①スナップピン

特殊な作業や爪の交換等のときはカバーを持上げて，スナップピンをロッドホルダより上方のロッド穴にセットしてください。



①スナップピン
②ロッドホルダ

後２輪の調整

■後２輪ハンドルによる耕深調整

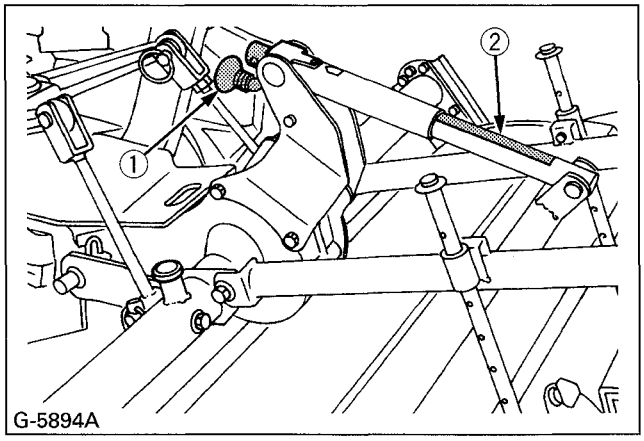
注　意

傷害事故の防止のため，後２輪ハンドルを操作する場合，次のことを守ってください。

＊トラクタを移動させながらの耕深調整は，しないでください。

＊後２輪ハンドルを回すときは，ロータリを少し下げてから操作してください。

後２輪ハンドルを回すことにより，耕深を自由に選ぶことができます。また耕うん深さ調整の目安として，耕深ラベルの目盛りをご使用ください。



①後２輪ハンドル
②耕深ラベル

畝立機の取付け(別売りオプション)

注 意

＊畝立機の取付けは，必ずロータリを地上に近い位置に降ろし，エンジンを停止してから行なってください。

＊畝立機を使用しない場合は取外してください。畝立機を上方に反転させての耕うん・移動は傷害事故を引起すおそれがあります。

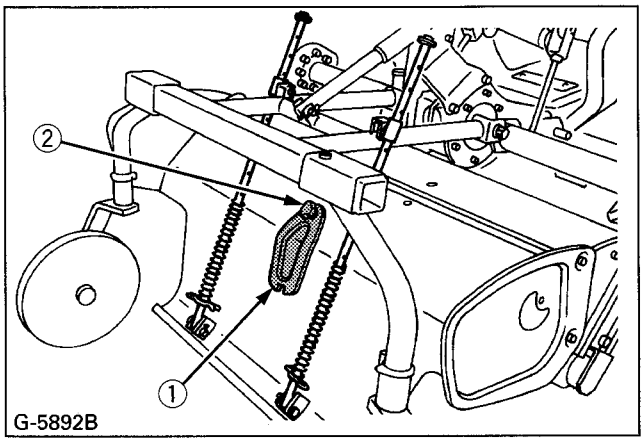
＊畝立機を使用しない場合，カバーフタを外したままでロータリを使用しないでください。傷害事故を引起すおそれがあります。

畝立機は，畝立て金具の穴に下から差込み，作業に応じて取付け高さを変え，ボルトで取付けてください。

❶爪の配列は２つ盛り耕法の配列にします。(**“２つ盛り耕法の配列”**の項を参照)

❷後２輪は取外します。

❸ノブボルトをゆるめ，カバーフタを取外します。取外したカバーフタとノブボルトは，紛失しないように保管しておきます。

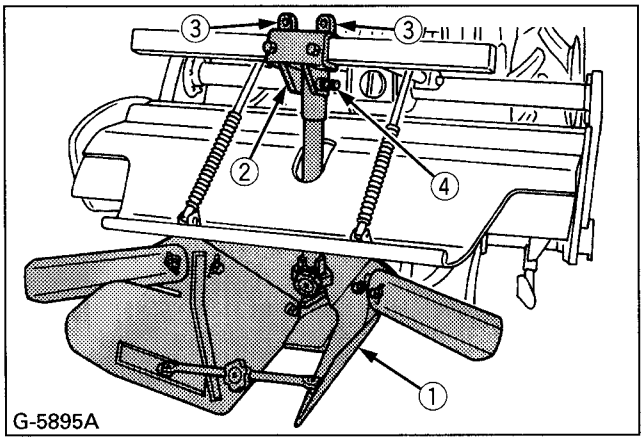


①カバーフタ
②ノブボルト

❹畝立金具を後２輪ホルダにピンでセットしてください。

❺ロータリカバーを上げてロッドのスナップピンで固定します。

❻ロータリカバーの下側から畝立機を畝立金具に取付け，ボルトで締付けてください。



①畝立機
②畝立金具
③ピン
④ボルト

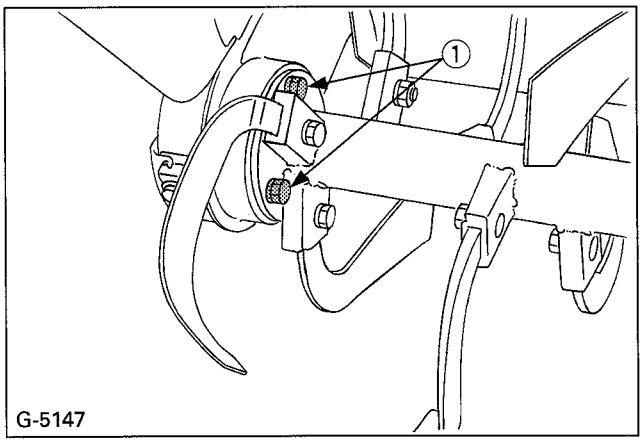
❼上げて固定したロータリカバーをロッドのスナップピンを抜き畝立機の上に乗せます。

爪軸交換のしかた

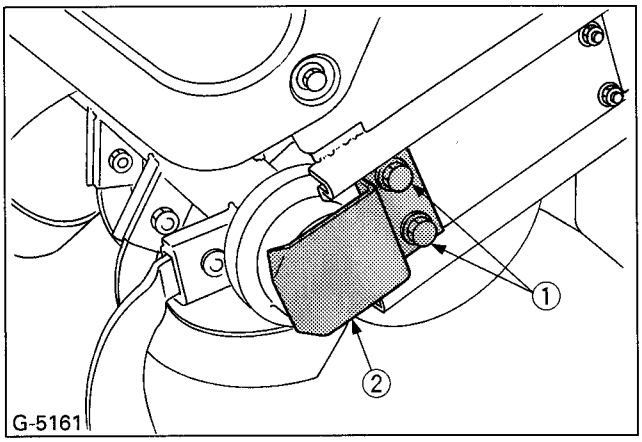
注　意

傷害事故の防止のため，爪軸交換をする場合，次の事を守ってください。
＊トラクタを平たんな広い場所に置く。
＊エンジンを止め，駐車ブレーキを掛ける。
＊ロータリを持上げ，落下速度調整グリップを右いっぱいに回し，油圧をロックします。

❶ロータリを持上げ，落下速度調整グリップを回して，油圧をロックします。
❷チェーンケース側爪軸取付けボルト(４本)，及びサイドフレーム側ベアリングケース取付けボルト(２本)をゆるめます。



①ボルト



①ボルト
②カバー(サイドフレーム)

❸油圧レバーを下げ落下速度調整グリップを少し左に回し，耕うん爪が水平地面上に着くまでゆっくりと降ろし，再度油圧をロックした後で，ボルトを外して，爪軸を交換します。
❹このとき，別売りの爪軸交換スタンドアッシ(品番98606－48430)を使用すると，より簡単です。

補　足

＊爪軸は，爪軸端部のフランジ側がチェーンケース側にくるように取付けてください。

作業前の点検について(日常点検)

警 告

＊安全カバー類を外した状態でロータリを使用しないでください。又，紛失したり，損傷した場合，交換してください。 巻込まれや，切傷事故の原因になります。

点検箇所

故障を未然に防ぐには，機械の状態をいつもよく知っておくことが大切です。
日常点検は毎日欠かさず行なってください。
※印は，別途作業要領が説明してあります。

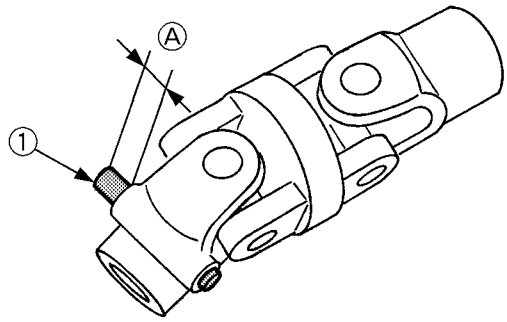
■点検は次の順序で実施してください。

(1)前日，前使用時の異常箇所。
(2)ロータリの点検ポイント。
＊爪及び爪軸取付けボルトのゆるみ
＊ロータリ各部のボルト・ナットのゆるみ
＊ユニバーサルジョイントのロックピンのロック状態の確認 …… ※1
＊油もれ

点検のしかた

1 ユニバーサルジョイントのロックピンの確認

ロックピンが正確に溝にはまったかどうかの確認は，ピンの頭が7㎜以上出ているかどうかを調べてください。



G-5181

①ロックピン　　Ⓐ"7㎜以上出ているのが正常です"

ロータリの簡単な手入れと処置

定期点検箇所一覧表

次の定期点検表に従って，必ず定期点検を実施してください。

注 意

傷害事故の防止のため，点検整備をする場合，次の事を守ってください。
＊トラクタを平たんな広い場所に置く。
＊エンジンを止め，駐車ブレーキを掛ける。
＊ロータリの落下防止のため，落下速度調整グリップを右いっぱいに回す。
＊爪軸の下に木の台などをし，より安全性を確保する。

No.	点検項目		アワーメータの表示時間						参照ページ
			50	100	150	200	250	300	
1	ギヤーケース	油量点検		○	○	○	○		13
		オイル交換	◎					○	
2	チェーンケース	油量点検		○	○	○	○		14
		オイル交換	◎		○			○	
3	グリースの塗布 ・ユニバーサルジョイントのしゅう動部 ・２点リンク連結部		○	○	○	○	○	○	14
4	グリースの注入 ・サイドフレーム下側ベアリングケース				○			○	15
	・後２輪のグリースニップル部		○	○	○	○	○	○	
5	注油 ・内管(後2輪調整ネジ部)		○	○	○	○	○	○	15

◎印はならし運転時の50時間使用後に必ず行ってください。

給油一覧表

給油(水)項目	容量(L)	使用オイル
ギヤーケースオイル	1.2	クボタ純オイルM90又はクボタ推奨オイル
チェーンケースオイル	0.6	
グリースの注入・塗布 ・ユニバーサルジョイント ・２点リンク連結部 ・サイドフレーム下側ベアリングケース ・後２輪支柱	適量	シャーシグリース
注油 ・内管(後２輪調整ネジ部)	適量	クボタ純オイル又はクボタ推奨オイル(エンジンオイル)

推奨オイル・グリース一覧表

■オイル

メーカ	ギヤーオイル
日石三菱	クボタ純オイル（ミッション用）M90又はクボタ推奨オイル
コスモ石油	クボタ純オイル（ミッション用）M90又はクボタ推奨オイル
ジャパンエナジー	クボタ純オイル（ミッション用）M90又はクボタ推奨オイル
昭和シェル石油	クボタ純オイル（ミッション用）M90又はクボタ推奨オイル
富士興産	クボタ純オイル（ミッション用）M90又はクボタ推奨オイル
モービル石油	クボタ推奨オイル(モービルギヤ630)

■グリース

メーカ	シャーシグリース	ホイールベアリンググリース
日石三菱	エピノックグリースAP-No.2	PAN WBグリース
コスモ石油	ダイナマックスEPNo.2	ロードマスターNo.2
ジャパンエナジー	リゾニックスグリースEPNo.2	リゾニックスグリースNo.2
昭和シェル石油	レチナックスCD	サンライトグリースNo.2
モービル石油	プレックス47	モービルグリースJL
エッソ石油	シャーシグリースL	リスタンWB2
出光興産	シャーシグリース	アポロイルオートレックスA
ゼネラル石油	シャーシグリースNo.2	WBグリースNo.2
キグナス石油	シャーシグリースNo.2	MPグリースNo.2

各部の油量点検と交換

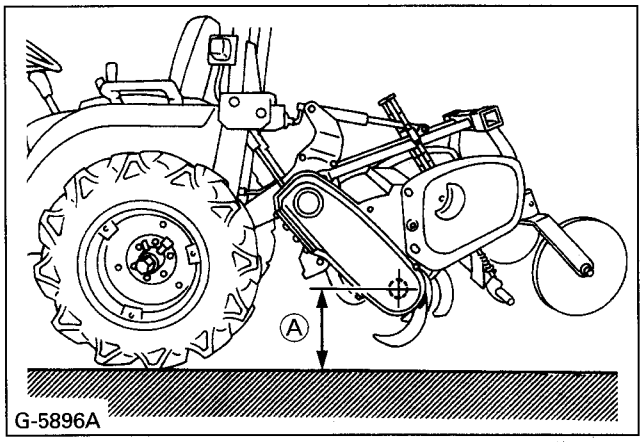
使用するギヤーオイルは，必ず**“クボタ純オイル”**を使用してください。(**“推奨オイル・グリース一覧表”**の項を参照)

補　足

＊ロータリのオイル量を点検するときは，ロータリの爪軸中心高さを調整して行なってください。
爪軸中心高が正しくないと正確な量を示さないことがあります。

オイル量点検時の爪軸中心高さh(cm)		
ロータリ / トラクタ	ギヤーケース	チェーンケース
KJ 11	24.5	23.0

(但しバラツキによる誤差はあります)



Ⓐ“爪軸中心高さ(h)”

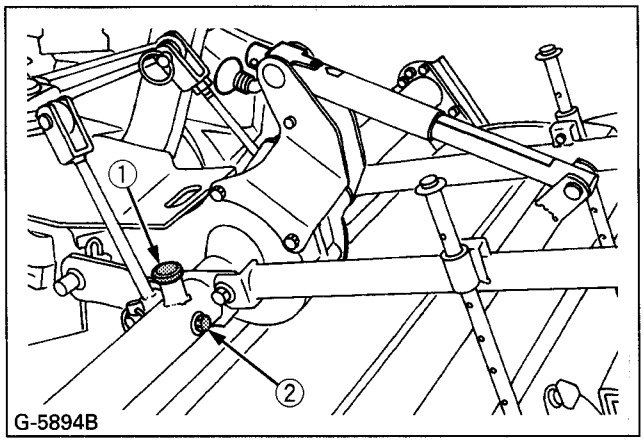
■ギヤーケースオイル

◆点検

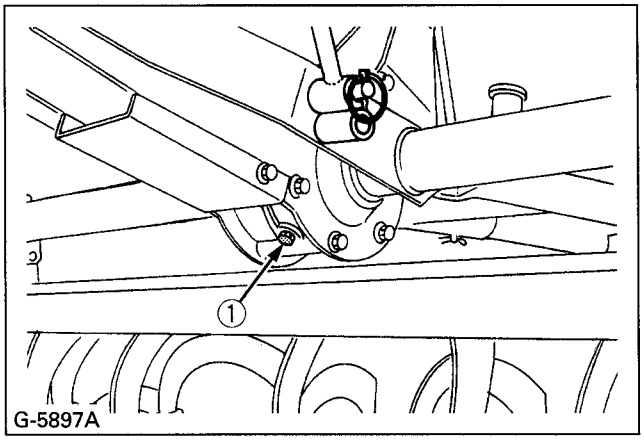
❶ロータリの爪軸中心高さを調整します。(**“各部の油量点検と交換”**の項を参照)

❷検油プラグを外し，検油口までオイルがあるか調べます。

❸検油口以下の場合はM90ギヤーオイルを検油口まで補給してください。



①給油プラグ
②検油プラグ



①ドレーンプラグ

◆交換

❶ドレーンプラグを外してオイルを排出します。

❷M90ギヤーオイルを給油口から，規定量(1.2L)入れてください。

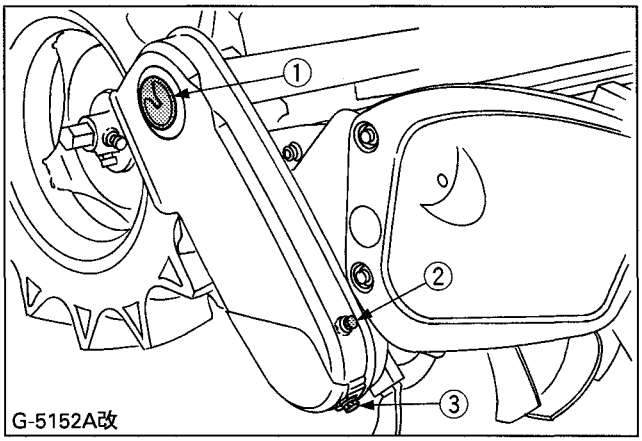
■チェーンケースオイル

◆点検

❶ロータリの爪軸中心高さを調整します。(**“各部の油量点検と交換”**の項を参照)

❷検油プラグを外し，検油口までオイルがあるか調べます。

❸検油口以下の場合はM90ギヤーオイルを検油口まで補給してください。



①給油口
②検油プラグ
③ドレーンプラグ

◆交換

❶ドレーンプラグを外してオイルを排出します。
検油プラグをゆるめておくと排出しやすくなります。

❷M90ギヤーオイルを給油口から，規定量(0.6L)入れてください。

グリース・オイルの補給と注油

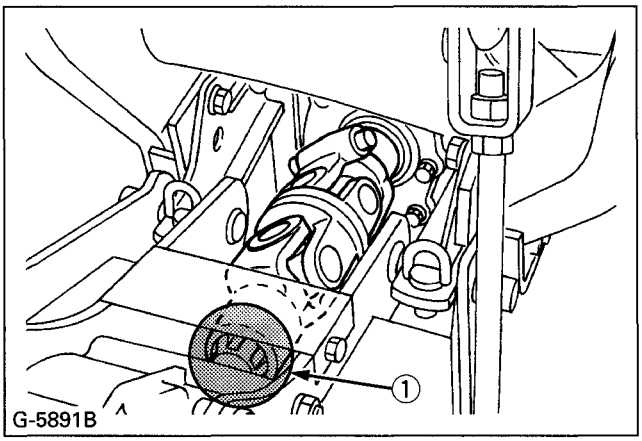
通常のグリースアップは，定期点検箇所一覧表に従って行なってください。但し，代かき作業などで泥水に入ったときは，作業終了後必ずグリースアップをしておきましょう。
グリースは，**“クボタ推奨グリース”**を使用してください。(**“推奨オイル・グリース一覧表”**の項を参照)

■ユニバーサルジョイント

しゅう動部は，ジョイントを取外して，ベアリンググリースを適量塗布してください。

補　足

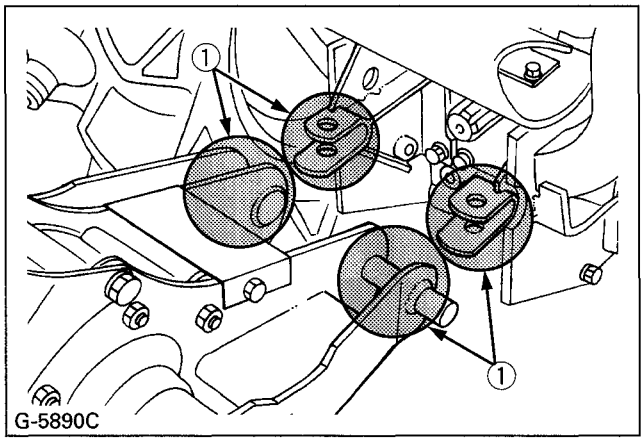
＊PTO軸・ロータリ側の軸にも，薄く塗布してください。



①しゅう動部

■2点リンク連結部

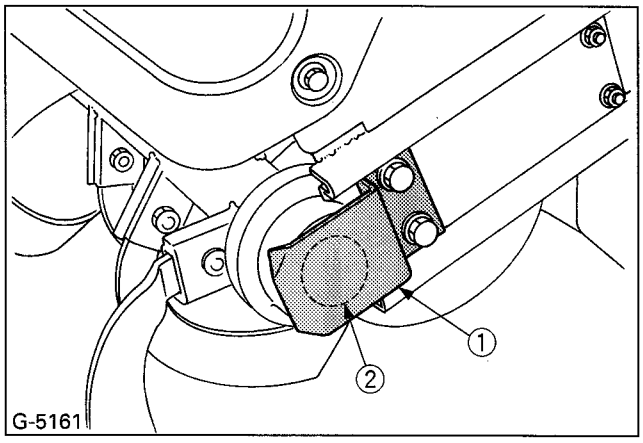
ロータリを外し，グリースを塗布します。



①2点リンク連結部

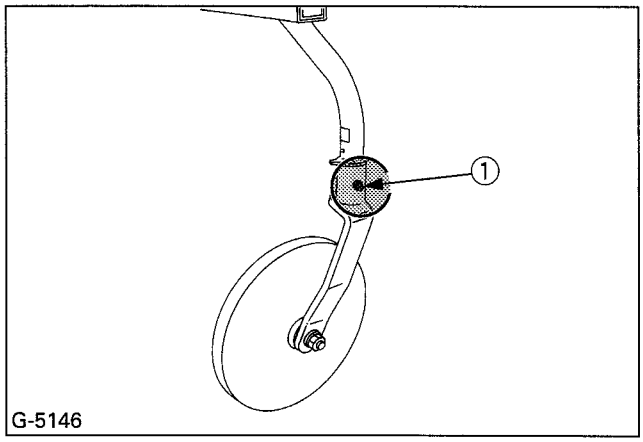
■サイドフレーム下側ベアリングケース

サイドフレーム下部の保護カバーとキャップを外して，ベアリンググリースを注入します。



①保護カバー
②キャップ

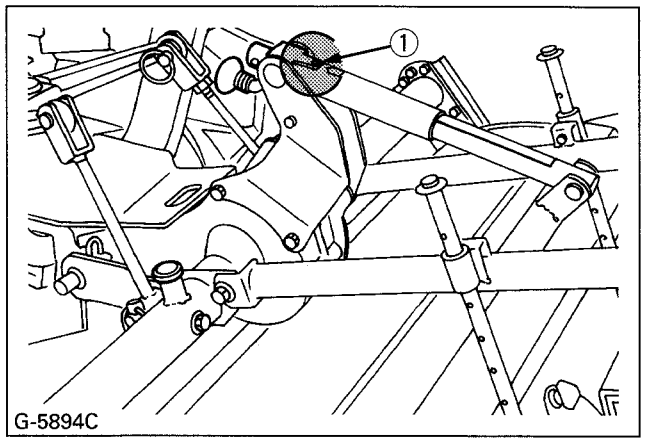
■後２輪のグリースニップル部



①グリースニップル

■内管(後２輪調整ネジ部)

オイルを適量注油します。



①後２輪調整ネジ部

シールの組換え

整備などの目的でギヤーケース，チェーンケース等を分解される場合は，必ず新しいオイルシール，ゴムキャップ，ゴム付座金，液状ガスケット等と交換してください。オイルもれの原因となります。
液状ガスケットはスリーボンド1206B又は1208D又はその相当品を使用してください。

付　表

主要諸元

型式名		RS10K
駆動方式		サイドドライブ
機体寸法	全長(mm)	1190
	全幅(mm)	1180
	全高(mm)	940
質量(kg)		127
適応トラクタ kW(PS)		KJ 11 7.7(10.5)
装着装置の種類		2点リンク
標準耕幅(cm)		101
標準耕深(cm)		12
標準作業速度(km/h)		0.5～3.1
入力軸回転数(rpm)		低：505，高：913
変速の有無		—
※1 耕うん軸回転数(rpm)		182[正転：170，307]
耕うん爪取付方法		ホルダタイプ
耕うん爪の種類と本数		321号R，L各11本 322号R，L各 1本
耕うん爪の外径(cm)		45
耕深調節機構		後方双尾輪
耕うん作業能率 (分/10a)	$\frac{6000}{W \cdot V \cdot E}$	26～158

※1 耕うん軸回転数は入力軸540rpmのとき
[ ]内は各PTO変速での回転数
W：標準耕幅(cm)，V：標準作業速度(km/h)，E：ほ場作業効率(0.75)

標準付属品

取扱説明書	1
保証書	1

アタッチメント一覧表(純正アタッチメントを使いましょう)

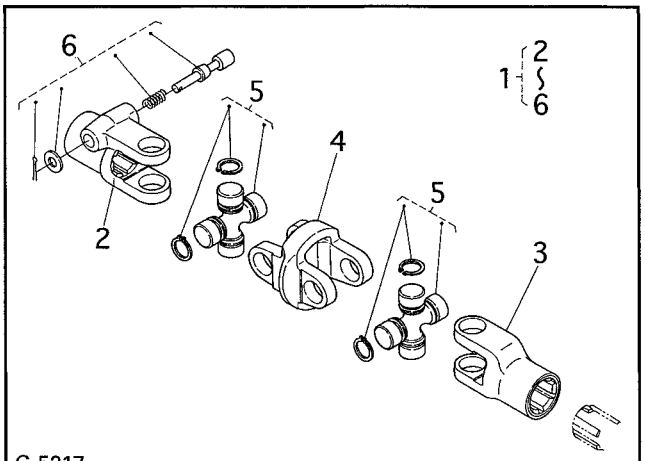
分類	品番	品名	用途・仕様	併用アタッチメント	適応ロータリ
					RS10K
耕うん	70170-5754-0	なた爪アッシ	321号なた爪R・L各11本 322号なた爪R・L各1本		○
	70461-5555-0	爪取付け部品1	ボルト・ナット バネ座金各1個	—	○ 24
整地	96272-2610-0	折りたたみ整地部	延長整地幅 左右各26cm	補助カバーが必要	○
	96272-2620-0	折りたたみ整地部 (補助付)	延長整地幅 左右各26cm 補助カバー含む		○
うねたて	96220-7550-0	4号うねたて機	溝幅12cm　軸径3.4cm 羽根長さ75.4cm	うねたて金具 標準カバー仕様(培土穴付) 96220-0020-0 GB15前部ウエイトアッシ 96315-1550-0 14kg,1個(3個まで装着可)	○
	96220-7560-0	5号うねたて機	溝幅13.5cm　軸径3.4cm 羽根長さ76.5cm		○
	96220-7570-0	7号うねたて機	溝幅21cm　軸径3.4cm 羽根長さ82cm		○
	96220-0020-0	うねたて金具	軸径3.4cm用	4号・5号・7号 うねたて機	○
	96230-7580-0	片培土機アッシ	溝幅18cm　軸径3.8cm 羽根長さ74.9cm		○

○の下の数字は1台当りの個数を示します。

アタッチメントの装着により前後バランスが悪くなった場合は、下記ウエイトを装着してください。

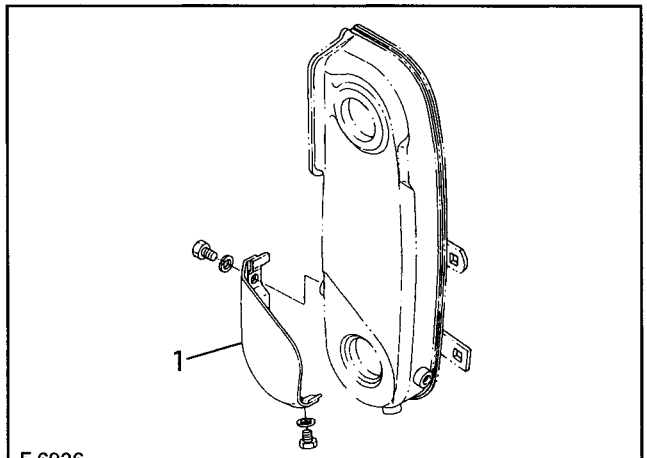
品番	品名	備考
96315-1550-0	GB15前部ウエイトアッシ	14kg/1個 (トラクタには3個まで装着可能)

主な消耗部品一覧表(純正部品を使いましょう)



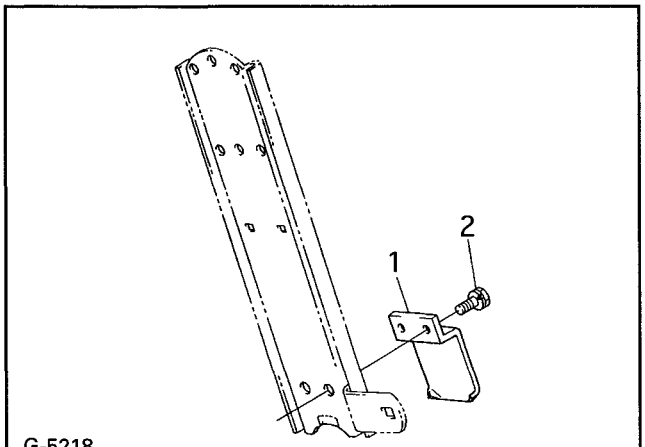
G-5217

図番	品　　名	品　　番	個数
1	ユニバーサルジョイントアッシ	70159-5811-0	1
2	ヨーク	70159-5812-0	1
3	スライドヨーク	79163-3123-0	1
4	ダブルヨーク	79180-3114-0	1
5	スパイダアッシ	79190-3125-0	2
6	ロックピンアッシ	70678-5822-0	1



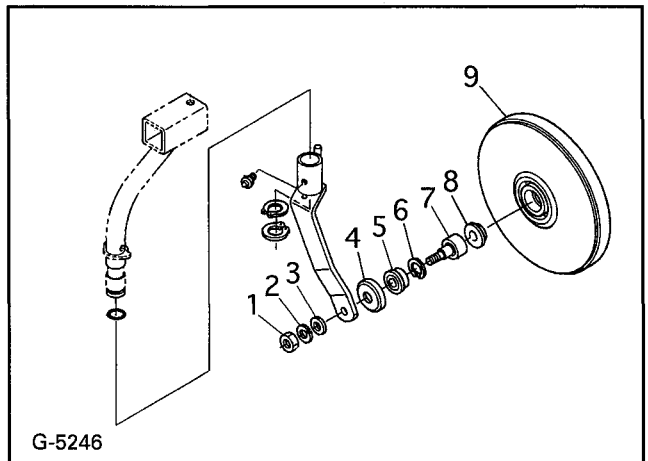
F-6926

図番	品　　名	品　　番	個数
1	カバー(保護)	70159-5415-0	1



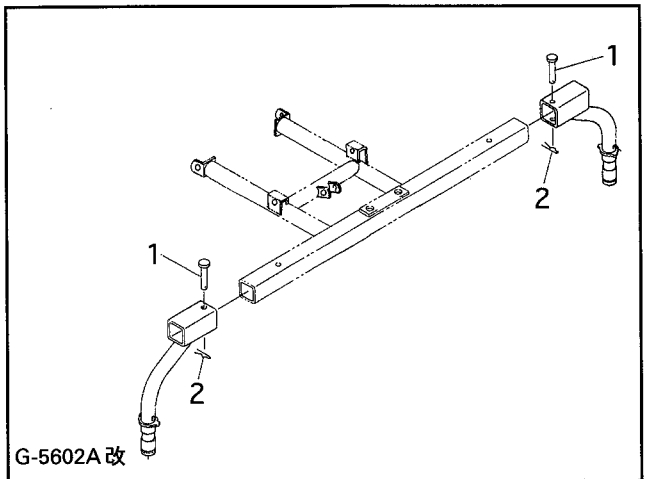
G-5218

図番	品　　名	品　　番	個数
1	カバー(サイドフレーム)	7F312-5551-2	1
2	ボルト	01133-51220	2



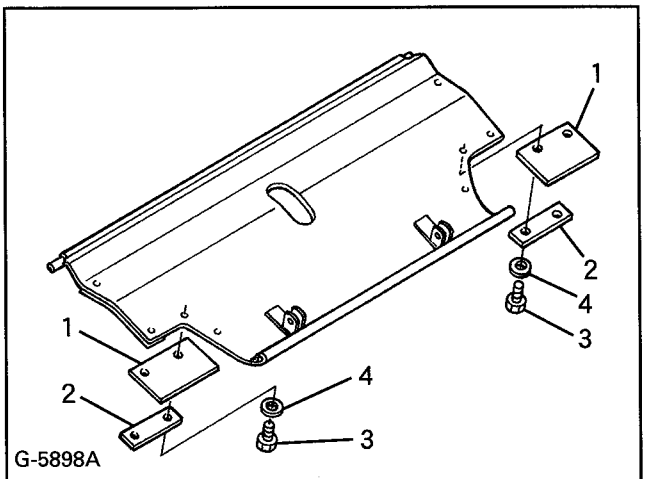
G-5246

図番	品　　名	品　　番	個数
1	ナット	02174-50160	1
2	バネ座金	04512-50160	1
3	平座金	04011-50160	1
4	カバー(ステー)	70159-5754-0	1
5	オイルシール(TCFY203712)	79153-3553-2	1
6	穴サークリップ	04611-00370	1
7	後2輪軸アッシ	79153-3552-0	1
8	シールキャップ	79163-3549-0	1
9	後2輪310	79153-7551-2	1



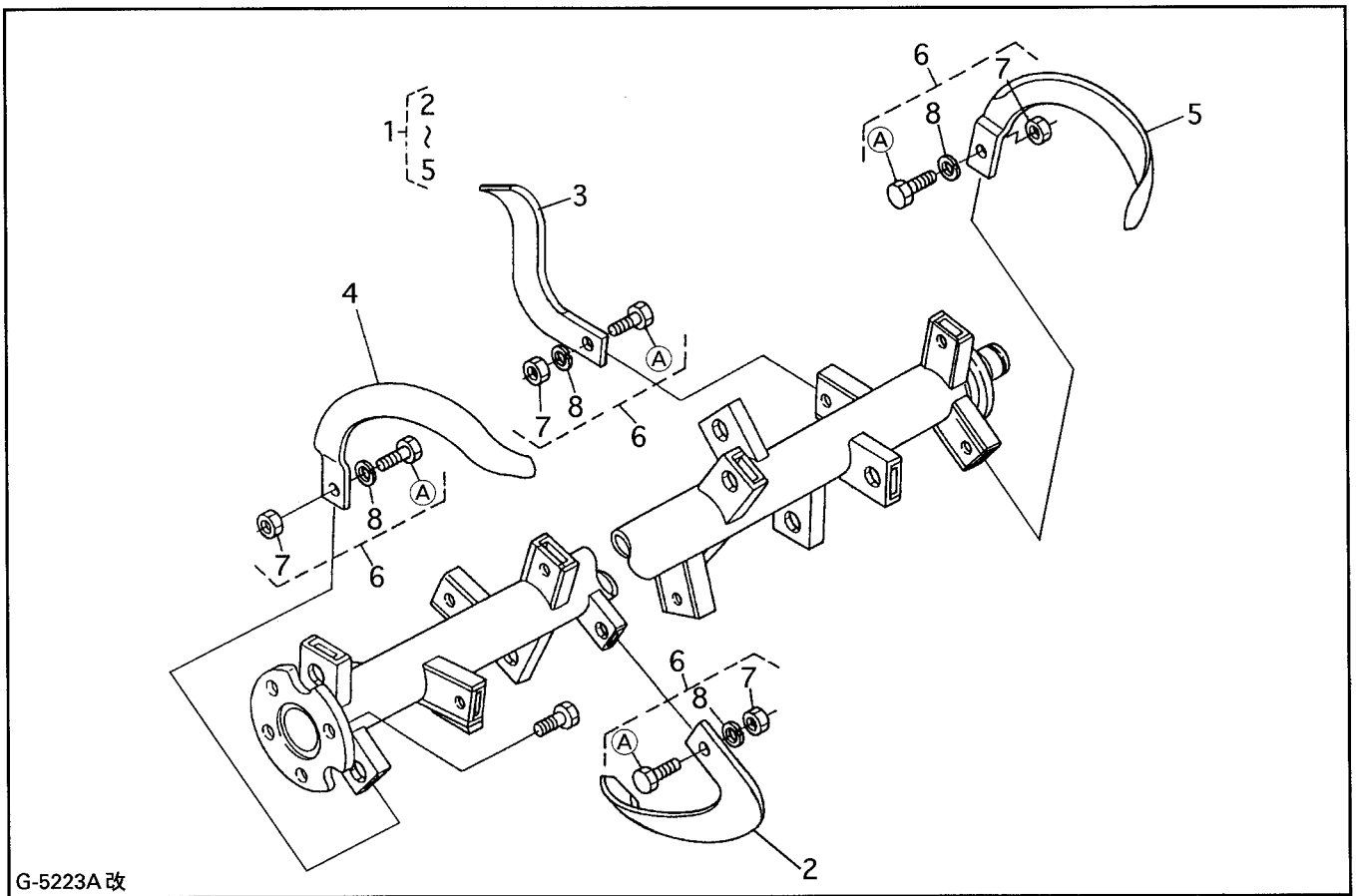
G-5602A改

図番	品　　名	品　　番	個数
1	アタマツキピン	05122-51270	2
2	スナップピン	05516-51200	2



G-5898A

図番	品　　名	品　　番	個数
1	マッドガード	7F300-5651-0	2
2	リテーナ(マッドガード)	7F300-5652-0	2
3	ボルト	01123-50812	4
4	ヒラザガネ	04015-50080	4



G-5223A改

図番	品　　名	品　　番	個　　数	備　　考
1	なた爪，アッシ	70170-5754-0	1	②～⑤
2	耕うん爪321左	96181-1221-2	11	
3	耕うん爪321右	96181-1222-2	11	
4	増巾爪322左	79140-6261-2	1	
5	増巾爪322右	79140-6262-2	1	
6	爪取付け部品　1	70461-5555-0	24	⑦，⑧，Ⓐ
7	爪取付けナット	64135-9519-3	24	
8	バネ座金	04512-50100	24	

修理・取扱い・手入れなどでご不明の点はまず，購入先へ　ご相談ください

おぼえのため，記入されると便利です

購入先名　　担当　　電話（　　）　　－		
ご購入日	型式名	区分
車台番号(製造番号)	エンジン型式　　エンジン番号	

万一購入先でご不明の点がございましたら，下記にお問合わせください。

株式会社クボタ

札幌支店：電(011) 662-2121	〒063-0061	札幌市西区西町北16丁目１番１号
仙台支店：電(022) 384-5151	〒981-1221	名取市田高字原182番地の１
東京支店：電(048) 862-1121	〒338-0832	浦和市西堀５丁目２番36号
大阪支店：電(0722) 41-8506	〒590-0806	堺市緑ヶ丘北町１丁１番36号
岡山支店：電(086) 279-4511	〒703-8216	岡山市宍甘275番地
福岡支店：電(092) 606-3161	〒811-0213	福岡市東区和白丘２丁目２番76号

株式会社クボタアグリ東北

秋田事業所：電(0188) 45-1601	〒011-0901	秋田市寺内字大小路207-54
仙台事業所：電(022) 384-5162	〒981-1221	名取市田高字原182番地の１

株式会社クボタアグリ東京

東京事業所：電(048) 862-1124	〒338-0832	浦和市西堀５丁目２番36号
新潟事業所：電(025) 285-1261	〒950-0992	新潟市上所上１丁目14番15号

株式会社クボタアグリ大阪

金沢事業所：電(0762) 75-1121	〒924-0038	松任市下柏野町956-１
名古屋事業所：電(0586) 24-5111	〒491-0031	一宮市観音町１番地の１
大阪事業所：電(0722) 41-8550	〒590-0806	堺市緑ヶ丘北町１丁１番36号

株式会社クボタアグリ中四国

米子事業所：電(0859) 33-5011	〒683-0804	米子市米原７丁目１番１号
岡山事業所：電(086) 279-4511	〒703-8216	岡山市宍甘275番地
高松事業所：電(0878) 74-5091	〒769-0102	香川県綾歌郡国分寺町国分字向647-３

株式会社クボタアグリ九州

福岡事業所：電(092) 606-3725	〒811-0213	福岡市東区和白丘２丁目２番76号
熊本事業所：電(096) 357-6181	〒861-4147	熊本県下益城郡富合町大字廻江846-１

RS10K

AE．△．2－2．6．AK

安全はクボタの願い

このマークは「お客様」「ディーラ」「クボタ」の三者
が一体となって安全宣言を行うための統一マークです。

株式会社クボタ

本　社　　大阪市浪速区敷津東１丁目２番47号　　〒556-8601

品番　7F300－5991－1

Kubota